



あけましておめでとうございます

皆様におかれましては  
は良き新年をお迎えの  
ことと思います。また、  
病気療養中の皆様にお  
かれましては今年こそ  
病気の速やかな回復を  
お祈りいたします。

私達は明石市の中核  
病院として市民の皆様  
に安心して医療を受け  
て頂くために何が必要  
なのかを常に考え努力  
しているところです。

昨年とは異例の大型台  
風の本土襲来を何度も  
経験しました。中でも  
台風 23 号は兵庫県に大  
きな被害を残しまし  
た。また、新潟県中  
越地震の規模と被害の  
大きさは、我々に阪神  
淡路大震災を思い起こ  
させました。今年はお  
の阪神淡路大震災から  
10 年目を迎えます。

我々はあらためて防災  
の大切さと災害時の救  
急医療の在り方を検討  
する必要を痛感しまし  
た。自然がわれわれ  
に与えた試練と教訓を  
医療の充実と発展に活  
かすためにはいけない  
と思っております。

高齡化時代を迎えて病  
院の医療体制にも変化  
を余儀なくされていま  
す。何よりも患者さん  
に侵襲の少ない治療法  
の確立が急務です。医  
療環境の改善と設備  
の充実をはかるため  
には、財政的な支援も  
必要です。市民病院で  
は高度の医療を行うた  
めに必要な大型医療機  
器(何億円もする)を  
何台も設置していきま  
す。その機器の維持管

理や機器の更新に莫大  
な予算が必要です。医  
療の質の向上を最優先  
に考えて努力しており  
ますが、皆様方にはご  
不信の医療を心がけ、  
不満な点も多いかと思  
います。

昨年から今年にか  
けて外来棟の改修工  
事と旧伝染病棟に最新  
の MRI(核磁気共鳴  
画像診断装置)を新  
たに増設することや  
SARS をはじめと  
御多幸を心よりお祈り  
致します。

今年も市民病院の更  
なる発展の為に皆様方  
の暖かいご支援をお願  
い致します。

病院長 奥野 忠雄



病院ホームページ公開中!

明石市立市民病院ではホームページを運用して  
います。下記 URL までアクセスください。

http://www.city.akashi.hyogo.jp/hospital/  
shiminhosp/index.html

診療家内

内科、肝臓内科、心療内科、精神科、神経内科、消化器科、循環器科、  
小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、  
眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

◎初めて受診される時

1. 新患受付にある新患受付番号発行機から、  
番号札をお取りください。

2. 診察申込書に必要事項をご記入ください。

3. 新患受付前で、順次番号をお呼びし、受付  
をします。

4. 新患受付後、カルテをお渡ししますので、  
それをもって、各診療科の受付窓口へ渡して  
いただき、各診療科診察室前でお待ちください。

5. 診察室から、お名前をお呼びします。

◎受付時間

月～金：午前 8 時 30 分～午前 11 時 30 分

ただし、脳神経外科(月) 神経内科(水)

耳鼻咽喉科(木)は午前 11 時まで

女性専門診療は第 2・第 4 金曜日午後 2 時

(完全予約制・予約専用電話 9123356)

なお、健康診断は受付時間が異なりますの  
でご注意ください。

健康診断：月～金の午前 8 時～午前 10 時

◎健診ほか(いずれも有料です)

1. 乳児健診(生後二・三・六・九・十二か月児  
が対象)

2. 予防接種(小児が対象、予約が必要です)

日本脳炎、麻しん、三種混合(百日せき、  
ジフテリア、破傷風)、二種混合(ジフテ

リア、破傷風)、風しん

毎週水曜日 午後 1 時～1 時 30 分

3. 先天性股関節脱臼健診

診察 毎週水曜日 午後 2 時～午後 3 時

いずれも詳細は、市民病院業務課にお問い  
合わせください。

明石市立市民病院業務課

電話 912 2323

# 診療科リレー 紹介

## 麻酔科

副院長兼麻酔科部長

上藤 哲郎

を担当しています。1年間の全身麻酔は約1400件です。全身麻酔の前には原則として麻酔科外来にきていただき、全身の診察と麻酔に対する説明を行っています。手術前には絶食ですが、麻酔科の診察前には絶食は必要ありません。薬も普通に飲んできてください。

集中治療・救急医療は集中治療室での診療を各診療科と協力して行います。また、人工呼吸や心肺蘇生(止

す。原因が治療できて痛みが止まるのが原則ですが、原因が治療できずに痛みだけが残っている、原因の治療ができない、原因が不明だが痛みがあるというような場合にペインクリニックに紹介されます。

今後ともそれぞれの分野をさらに充実させていきたいと思っています。

「体がだるくてあちこち診てもらいに行きましたか?」と続きました。患者さんの話をま

リハビリテーション科

の増加でした。理学療法の診療科別患者数は、整形外科398名、脳神経外科42名、内科39名、神経内科30名、その他28名です。整形外科では、骨折や脱臼などで行なわれています。ス

されますが、そうでない場合には、脳神経外科の医師よりリハビリテーション専門病院を紹介されて転院となります。転院先の理学療法担当者に対して紹介状を作成し、転院に際して理学療法が滞ることのないように努めております。



## 心療内科

心療内科部長

上月 清司

現代社会において多くのストレスを受け、「眠れない」、「食欲がなくなつた」、「全身がだるい」、「憂うつだ」などの症状が生じます。このような場合、心療内科を受診しようと思つても少し勇気がいることかもしれませ

「眠れない」、「食欲がなくなつた」、「全身がだるい」、「憂うつだ」などの症状が生じます。このような場合、心療内科を受診しようと思つても少し勇気がいることかもしれませ

「体がだるくてあちこち診てもらいに行きましたか?」と続きました。患者さんの話をま

理学療法の年間患者数は537名で、昨年より14%増加しました。作業療法の年間患者数は185名で、昨年より微増しました。年間の件数は、理学療法が18919件、作業療法が5837件

理学療法の年間患者数は537名で、昨年より14%増加しました。作業療法の年間患者数は185名で、昨年より微増しました。年間の件数は、理学療法が18919件、作業療法が5837件

理学療法の年間患者数は537名で、昨年より14%増加しました。作業療法の年間患者数は185名で、昨年より微増しました。年間の件数は、理学療法が18919件、作業療法が5837件

# 看護部通信

## 3階西病棟紹介

3階西病棟看護師長 森本 富美子

小児科を中心に消化器科、循環器科、外科、整形外科などの女性患者さんが入院される病棟です(ベッド数41)。看護師20名、看護助手1名で「患者さんの声」を反映した看護サービスを提供できるよう努めてまいります。

なく、ご機嫌もよくなっています。いままに注射や検査が始まるため、「病院は痛くて、こわい場所」となってしまう。子どもの不安が出来るだけ少なくなるよう、病院での体験を明るいものになるよう私たちはさまざまな工夫をしています。病棟の入り口のデコレーションや、おもちゃ、絵本、ビデオなどを備え子どもが楽しめる場所を作ります。

少子化が進み、明石市の出生数は毎年3千数百人で推移していましたが、平成10年ごろを境に減少に転じました。平成15年には2884人と初めて3千人を下回りました。子供人口の減少とともに小児科の入院患者さんも減少しましたが、明石市の小児医療の中核病院として、小児看護の質の向上に励んでまいります。



子どもの病気は症状の変化が急激なため、外来を受診後、すぐに入院となる場合が多くあります。元気が

成人の患者さんにはもちろんですが、子どもたちからのメッセージは私たち看護師の大きな励みになります。

ります。紙面を借りて紹介させて頂きます。「かんごふさんへ。1週かんありがとう。わたしはおおきくなったらかんごふさんになるのがゆめです。かんごふさんのしごと、たいへんそうだけどなにかたいへんですか? てんてきぬくのつてむつかしいですか? つぎの水ようびあえたらいいね。かんごふさんがねつをだしたらどうするの? げんきでね。」

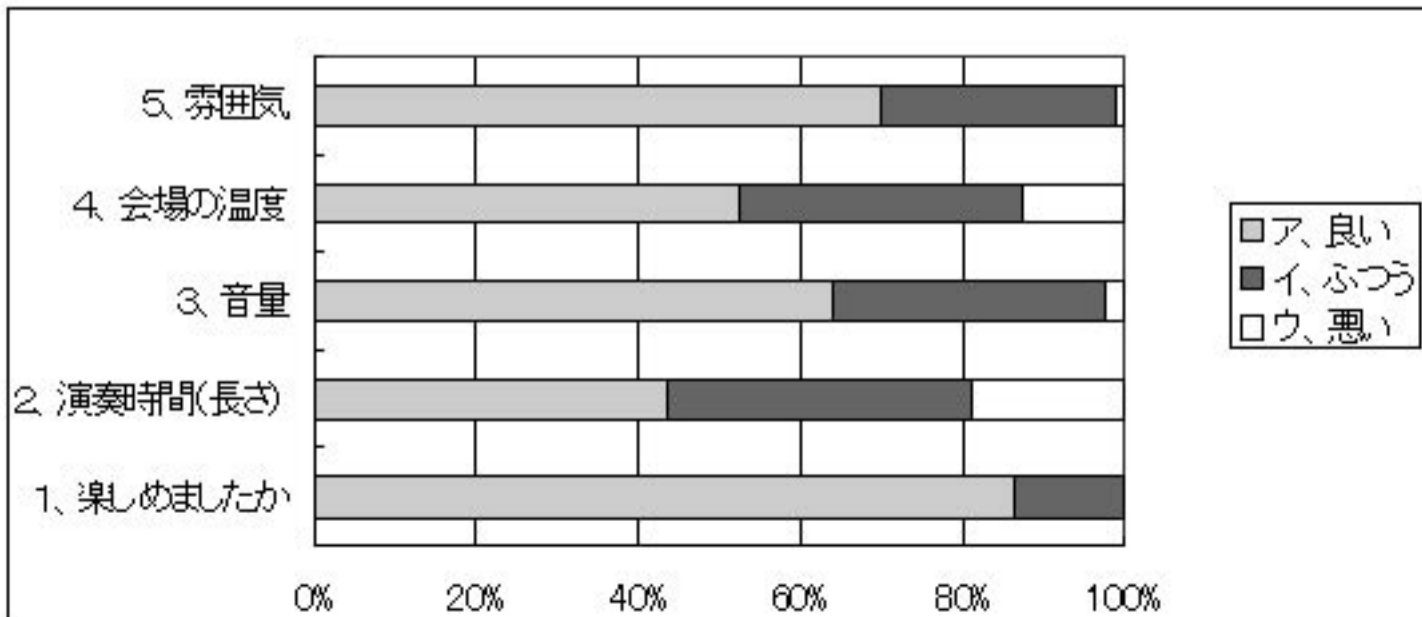
## 「院内コンサート」を終えて

昨年12月18日(土曜日)、第4回の院内コンサートを開催しました。患者さんやご家族12名とともに、ハワイアン気分の良いひと時を過ごすことができました。

また、80名の方々からアンケートのご回答をいただきました。1時間30分のコンサートでお疲れのところ、ご協力を頂き有り難うございました。今回、初めての試みとして、病院職員の演目を取り入れました。皆様から温かい応援のお声をいただき大きな励みとなりました。お寄せ頂いた多くのご意見の中から、いくつかを紹介いたします。

「スタッフのみなさん、たどたどしいけど楽しかった。入院は辛いけどコンサートは楽しみです。」「病気のことを忘れて楽しい時間を過ごせた。」「久しぶりに華やかな気分を味わえた。」「今年は2つのチームだけだったけど、各部署から数人ずつの看護師が出たら、もっと楽しいと思う。」「スタッフの心遣いが行き届いていた。」

「院内コンサートのアンケート結果」



### 酉年生まれの

### ごあいさつ



● 3 度目の年女

5 階東病棟 吉武知代

新年あけましておめでとうございます。私は酉年生まれで、市民病院に就職したのも酉年でした。12 年前にキラキラと瞳を輝かし、胸をときめかせ、ちよっぴり不安を抱きながら、働き出した頃を思い出します。

12 年間の医療の進歩はめざましいものです。一方で、人々を取り巻くさまざまなストレスや環境の変化、未知の病原体の出現など医療が向き合う課題は、年ごとに複雑になっています。私たち看護師の業務範囲も広くなり、より大きな責任を果たさなければなりません。

私の理想の看護師像は、明るく、やさしく、温かく、必要なときには厳しくなれる母親のような存在です。羽を大きく広げ、ゆったりと包み込むような

看護ができるよう、今年は初心に戻って、夢に向かって頑張ります。

● 酉年生まれの 2 年目ナース

5 階西看護部 前田 政子

看護師になり、市民病院に就職して 2 回目のお正月を迎えます。自分のことで精一杯だった 1 年目に比べ、少しずつですが余裕をもって仕事ができそうです。でも、まだまだ「ひよこ」です。先生方や先輩、患者様から教わるのがたくさんあります。

5 階西病棟は内科、神経内科、脳神経外科、眼科の混合病棟ですので、多岐にわたる知識や技術が求められます。ニーズに応えられるよう今年さらにはたくさんのことを勉強し、技術を身に付け患者様から信頼される看護師になれるよう頑張ります。

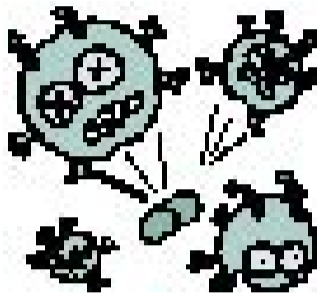
今年も 1 年、笑顔を絶やさず、元気に大きく羽ばたきたいと思えます。

## インフルエンザの治療薬について

## 薬剤科

インフルエンザウイルスは、A、B、C の 3 型に区別され、最近 25 年間は A ソ連型、A 香港型、B 型の 3 種が毎冬流行をくり返しています。

インフルエンザの治療薬としては、A 型インフルエンザウイルスのみ効くシンメトレル錠® と A、B 型インフルエンザウイルス両方に効くタミフルカプセル・ドラッグ® とリレンザ吸入薬® があります。インフルエンザと思われる症状が現れてから 48 時間以内に使用を開始すると有効であるとされています。また、使用を開始してから症状が軽減してきても途中で使用を中止することなく、医師の指示どおり使用を継続することが大切です。タミフルカプセル® には、インフルエンザの予防効果もあり平成 16 年 7 月より予防投与が出来るようになりました。



た。予防で服用する場合は、インフルエンザ患者さんと同居している家族や共同生活をされている方で 65 歳以上の高齢者、慢性呼吸器病の患者さん、糖尿病の患者さんなどが対象となりますが健康保険は適応されず、100% 自己負担となります。

インフルエンザの治療上注意すべき点として、非ステロイド性消炎鎮痛剤のボルタレン®、ポンタール® との関連が指摘されているインフルエンザ脳症があります。これは小児に多い合併症で、これらの使用と統計学的に相関が認められています。何らかの因果関係があるのか、脳症を起こす重傷例ではボルタレン®、ポンタール® の使用頻度が高くなりがちなのためなのか、結論は出ていません。いずれにしても、対症療法としての使用は慎重に行う必要があります。

おくすりを使用していて気になること、変わったことがありましたら速やかに、医師・薬剤師にご相談下さい。

### 院内情報局

この情報は 1 月 15 日  
現在のものです。  
詳細は総務課まで

### 健康明石 21 市民公開講座

- ・ 1 月 20 日 (木)  
[腹痛のいろいろ]  
「腹痛を生じる病気」：消化器科  
「手術を要する腹痛」：外科
- ・ 2 月 17 日 (木)  
「肝 炎 - 最新の知識 治療の最前線 -」：肝臓内科  
「薬の飲み方 - 薬を飲むときに気をつけること -」：薬剤科
- ・ 3 月 17 日 (木)  
「いわゆる生理不順、生理痛について」：お問合わせ 広報委員会事務局 (総務課)

### 産婦人科

「婦人科健診のすすめ - 母娘で一緒に -」：看護部

各日とも午後 2 時から、正面玄関右手の階段を上った 2 階講義室で開催します。

入場無料です。直接会場までお越しください。

### ※工事のお知らせ

現在、病院の外壁工事及び診療録等保管棟の改修工事 (MRI 室、感染症室、診療録管理室の設置) を行っています。

工事は 3 月末に終了する予定です。

工事期間中、皆様には騒音等のご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。



「癒しの森」では皆様からのご意見、写真等の作品を募集しています。

お問合わせ 広報委員会事務局 (総務課)

### 「編集後記」

新年を向かえ心機一転! と元気にスタートを切ったつもりですが、私事ながらまだ後厄です。若い頃のように疲れ知らずというわけにはまいりませんが、気持ちはいつも新鮮であるよう心がけております。昨年とは何かと暗い報道が続いておりましたが、今年は明るく平和な世の中になりますようお祈りするとともに、心温まる新聞作りに励んでゆきたいと思っております。

(月下独酌・編集長)